

高校とは違う大学の学び

新しい環境で、自分の興味や目的に応じた学びを深めることで大きく飛躍しよう!

01 単位修得

高校 年度ごとに進級を決める学年制

大学 学年ごとではなく卒業に必要な単位を修得する。

単位は教養課程 (P.034を参照) と専門課程に分かれていて、卒業するにはそれぞれ定められた単位数以上の修得が必要になります。単位は、授業を受け、試験等に合格することで得ることができます。単位の全体図は下表の通りです。



03 授業時間

高校 1時限は50分前後

大学 90分授業が基本。多様な内容をより深く学ぶ。

大学では、1時限当たり高校の約2倍の授業時間で実施されます。しかし、自分の興味ある科目を中心に深く学んでいくので、あっという間に時間が過ぎていきます。

05 試験

高校 中間・期末試験と不定期の実力テスト

大学 前期・後期の学期末に試験を行う。

暗記の多い高校の定期試験と異なり、大学の試験では自分の考えを論述することで、その理解度を評価します。その他、課題提出や出席状況なども加味して総合的に評価します。



02 時間割

高校 決められた授業クラス全員が同じ時間割

大学 受けた科目を選んで自分だけの時間割を作る。

大学では自分の興味・関心に合わせて、学びたい授業を選ぶことができます。授業の選び方は、4月のオリエンテーションで説明しますので安心してください。



04 セミナー

高校 与えられた内容を学習

大学 専門的な研究テーマを学ぶ。

自分の学びたい分野を専門とする教員のもとで、自分のテーマに沿って積極的に討論、研究や発表を行う授業です。同じ興味をもつ仲間と共有する学びは、高校では味わえない充実感があります。



詳しくは、P.035へ

06 休暇

高校 約1カ月の夏休みと2週間程度の冬・春休み

大学 春と夏に長期休暇がある。

大学には8月上旬から9月下旬までの約50日間の夏休み、年末年始の10日間の冬休み、後期の定期試験終了後の約60日間の春休みがあります。これらの休暇期間を利用して、海外研修やボランティアなどに参加し、高校ではできない有意義な時間を過ごしましょう。



カリキュラムのしくみ



単位互換・他学科履修制度を活用することで、さらに学びを深めることができます。詳しくは、P.030へ

教養課程 (共通教育科目・基礎教育科目)

「建学の精神である『全人教育』を基礎として、礼節を重んじ、世界に通じる心豊かな人間を育成する」ことを理念とし、幅広い知識や教養を身につけることが目標です。

共通教育科目 (グローバルビジネス学部)

グローバル化時代の社会・人間の理解

- 暮らしの中の憲法
- 健康科学
- 健康とスポーツ
- 現代社会と女性
- 社会学
- 宗教学
- 人権論
- 心理学
- 数学の基礎
- 生活の中の化学
- 地球の科学
- 統計学入門
- 人間学
- 人間と環境
- 人間の生と死
- ヒトとコバの世界
- 文化人類学

外国語によるコミュニケーションの理解

- 英語I~IV
- エッセンシャルグラマーI~II
- オーラルイングリッシュI~VI
- 時事英語
- 旅行英語
- ポキャブラリービルディングI~II
- ライティングI~II
- リスニングI~II
- 中国語I~II
- 韓国語I~II
- ベトナム語I~II
- ドイツ語I~II
- フランス語I~II
- スペイン語I~II

地域理解

- 日本思想
- 日本と世界の今日的課題
- 日本と世界の宗教
- 日本の近現代史
- 日本の伝統文化
- アメリカの政治と経済
- アメリカの民族と文化
- アメリカの歴史と社会
- ヨーロッパの政治と経済
- ヨーロッパの民族と文化
- ヨーロッパの歴史と社会
- 東アジアの政治と経済
- 東アジアの民族と文化
- 東アジアの歴史と社会
- 東南アジアの政治と経済
- 東南アジアの民族と文化
- 東南アジアの歴史と社会

ICTの活用

- コンピュータの活用I (Excelの関数活用)
- コンピュータの活用II (Excelによる統計処理)
- コンピュータの活用III (マルチメディア)
- コンピュータの活用IV (データベース)
- コンピュータの基礎演習
- 情報と社会
- 情報の科学

キャリア形成

- インターンシップI~II
- キャリアアップ基礎I (数的処理)
- キャリアアップ基礎II (言語)
- キャリアアップ基礎III (ビジネスのマナーと文書)
- キャリアデザインI (自己の探求)
- キャリアデザインII (企業と仕事)
- キャリアデザインIII (社会生活の基礎)
- 日本語表現I (文章表現)
- 日本語表現II (口頭表現)
- ビジネスプレゼンテーション
- ボランティア活動
- ボランティア論

国際理解基礎

- 現代の国際社会
- 国際社会の法と人権
- 世界の地理
- 異文化コミュニケーション論

海外体験

- スタディアブロードI~III

基礎教育科目 (人間科学部)

グローバル化時代の社会・人間の基礎理解

- 暮らしのなかの憲法
- 経営学概論
- 会計学概論
- 経営と情報
- 現代企業論
- 情報社会論
- 現代社会と女性
- 現代の国際社会
- 現代の日本社会I (政治・経済)
- 現代の日本社会II (法と社会)
- 差別と人権
- 差別論
- 人権教育論
- ジェンダー論
- 社会学I
- 心理学I
- 教育心理学I~II

宗教と社会

- 人間学
- 人間と科学
- 人間と環境
- 人間とスポーツ
- 人間の生と死
- 文化人類学
- 異文化交流論
- 歴史で見る社会
- ホース・アシステッドセラピー概論

外国語によるコミュニケーションの基礎理解

- 英語I~IV
- オーラルイングリッシュI~VI
- 時事英語
- 旅行英語
- ライティングI~II
- リスニングI~II
- スペイン語I~II
- 中国語I~II
- ドイツ語I~II
- スタディアブロードI~III

インフォメーション・テクノロジーの基礎理解

- コンピュータ基礎演習I~IV
- コンピュータ応用演習I~II
- 情報処理のしくみI~II

キャリア形成科目

- インターンシップI~II
- キャリアアップ基礎I (数的処理)
- キャリアアップ基礎II (言語)
- キャリアアップ基礎III (ビジネスのマナーと文書)
- キャリアデザイン基礎演習
- 日本語表現I (文章表現)
- 日本語表現II (口頭表現)
- ビジネスプレゼンテーション
- ボランティア活動
- ボランティア論
- グローバルインターンシップ
- 教育特別演習



*2014年度カリキュラム